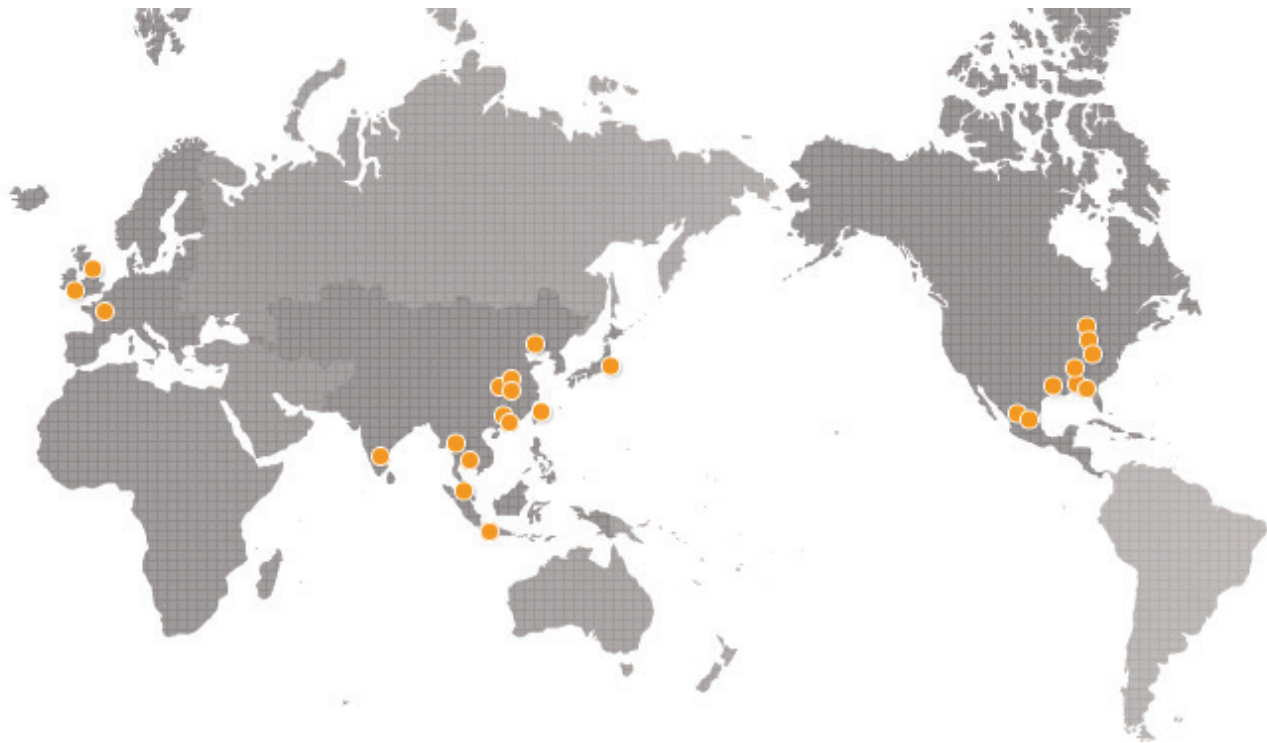


Kasai

第 86 期 中間報告書

(自 平成28年4月1日)
(至 平成28年9月30日)



河西工業株式会社

証券コード No 7256

株主の皆様へ

社訓

1. 社会の信用を “Gain Trust from Society”
2. 企業の繁栄を “Seek Prosperity for Company”
3. 相互の幸福を “Share Happiness with Everybody”

経営理念

河西グループは誠意と新しい技術の創造によって価値ある商品、サービスをグローバルに提供し、顧客、株主、従業員をはじめ、全ての関わる人々の幸福を実現します。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社第86期第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では労働市場は底堅く、個人消費も堅調さを維持し、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、中国では生産・消費の伸びが小幅に縮小し、投資は政策効果の一服により一段と鈍化するなど、景気の減速傾向が続いております。また、欧州においては景気は緩やかに回復しておりますが、英国のEU離脱による影響懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

我が国経済においては、雇用・所得環境が堅調に推移したものの、世界経済の動向や円高による為替の影響により企業収益の見通しに下振れが懸念されるなど、先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場では乗用車の販売が前年割れとなり、中国市場では全体の販売台数に伸長はありますが、輸出台数においては減少が見られました。欧州市場では乗用車の販売が堅調さを維持しております。国内市場では乗用車の販売は横ばいで推移しておりますが、軽自動車においては増税に伴う影響が継続しており、販売が低迷しております。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバルな自動車内装部品メーカーとしての地位を確立すべく、品質の確保、生産性向上と原価低減活動の推進、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む事業展開を積極的に進めております。これらの活動の成果として、主要得意先で内外装部品としては初めてのグローバル品質賞やプラスチック成形加工学会の「青木固 技術賞」を受賞いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、円高の影響もあり、前年同期比で減収減益となりました。売上高は、日本では底堅い伸びを示したものの、海外では主に円高の影響により、1,096億16百万円と前年同四半期に比べ94億7百万円減少（内、為替による減収影響は約80億円）（△7.9%）しました。営業利益は、合理化活動の効果もありましたが、新型車の立上げ準備や円高による為替の影響を受け、75億16百万円と前年同四半期に比べ9億29百万円減少（△11.0%）しました。経常利益は68億6百万円と前年同四半期に比べ13億71百万円減少（△16.8%）しました。同じく、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億9百万円と前年同四半期に比べ10億76百万円減少（△22.0%）しました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

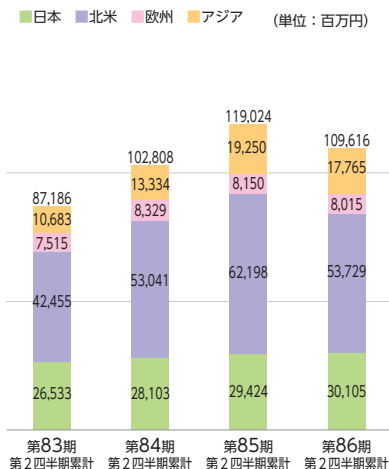


代表取締役会長
最高経営責任者
渡邊 邦幸

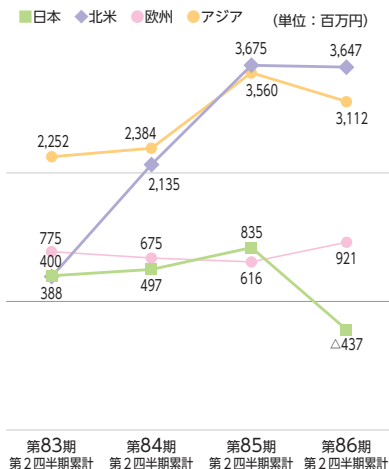
代表取締役社長
最高執行責任者
堀 浩治

セグメント別業績

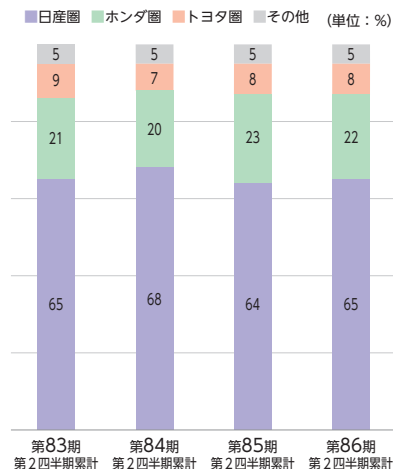
セグメント別売上高 (連結)



セグメント別営業利益 (連結)



得意先別売上シェア (連結)



(日本)

主要得意先の底堅い販売動向により、売上高は301億5百万円と前年同四半期比6億80百万円の増収(+2.3%)となりましたが、立ち上げ準備費用等の負担もあり、4億37百万円のセグメント損失(前年同四半期は8億35百万円のセグメント利益)となりました。

(北米)

主要得意先の減産の影響や円高による為替影響を受け、売上高は537億29百万円と前年同四半期比84億68百万円の減収(△13.6%)となり、セグメント利益は36億47百万円と前年同四半期比28百万円の減益(△0.8%)となりました。

(欧州)

主要得意先の新車立ち上げによる売上高の増加を見込みましたが、円高による為替の影響を受け、売上高は80億15百万円と前年同四半期比1億34百万円の減収(△1.7%)となりました。セグメント利益は、合理化活動の効果もあり9億21百万円と前年同四半期比3億5百万円の増益(+49.7%)となりました。

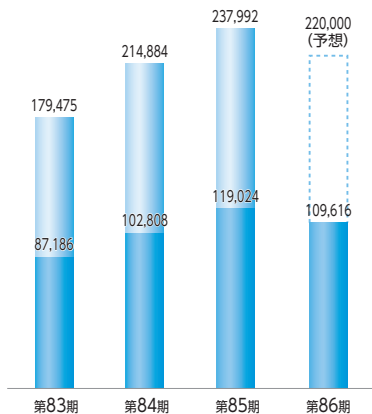
(アジア)

主要得意先の販売動向は堅調に推移しましたが、円高による為替影響を受けたことにより、売上高は177億65百万円と前年同四半期比14億85百万円の減収(△7.7%)となり、セグメント利益は31億12百万円と前年同四半期比4億47百万円の減益(△12.6%)となりました。

財務ハイライト (連結)

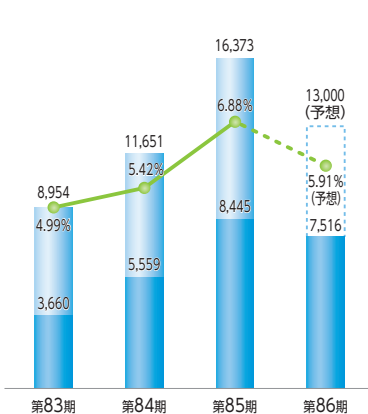
売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



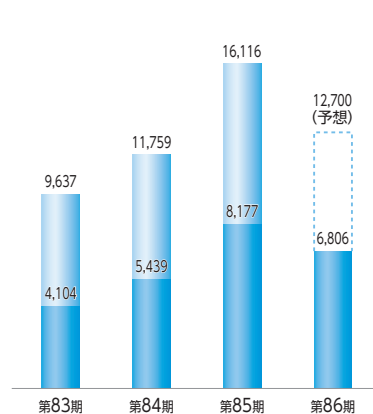
営業利益 / 通期営業利益率

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)
● 通期営業利益率



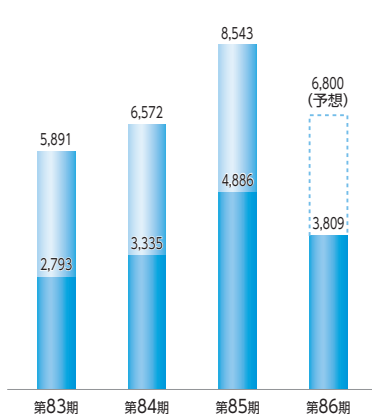
経常利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



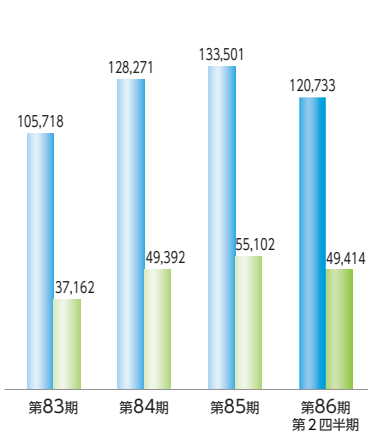
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 百万円)



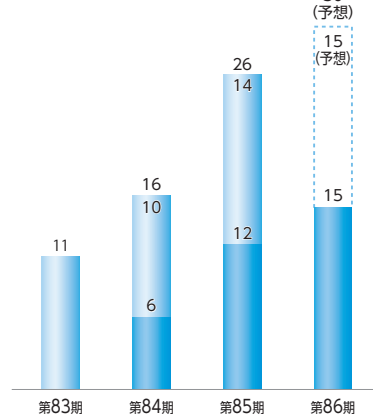
総資産 / 純資産

■ 総資産 ■ 第2四半期 ■ 期末 (単位: 百万円)
■ 純資産 ■ 第2四半期 ■ 期末



配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位: 円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	第86期第2四半期 2016年9月30日	第85期 2016年3月31日
(資産の部)		
流動資産	55,559	63,047
固定資産	65,174	70,453
有形固定資産	55,097	58,878
無形固定資産	1,659	2,087
投資その他の資産	8,417	9,487
資産合計	120,733	133,501
(負債の部)		
流動負債	47,601	51,787
固定負債	23,717	26,611
負債合計	71,318	78,398
(純資産の部)		
株主資本	48,406	45,067
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,372	5,339
利益剰余金	37,793	34,516
自己株式	△580	△610
その他の包括利益累計額	△4,923	2,555
新株予約権	126	119
非支配株主持分	5,805	7,360
純資産合計	49,414	55,102
負債純資産合計	120,733	133,501

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第86期第2四半期累計 自2016年4月1日 至2016年9月30日	第85期第2四半期累計 自2015年4月1日 至2015年9月30日
売上高	109,616	119,024
売上原価	94,101	102,579
売上総利益	15,515	16,444
販売費及び一般管理費	7,998	7,998
営業利益	7,516	8,445
営業外収益	393	174
営業外費用	1,103	442
経常利益	6,806	8,177
特別利益	14	7
特別損失	44	24
税金等調整前四半期純利益	6,776	8,160
法人税、住民税及び事業税	2,068	2,205
法人税等調整額	42	189
四半期純利益	4,665	5,765
非支配株主に帰属する四半期純利益	855	879
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,809	4,886

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

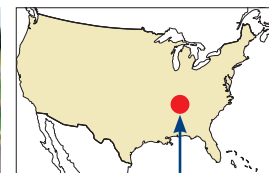
	第86期第2四半期累計 自2016年4月1日 至2016年9月30日	第85期第2四半期累計 自2015年4月1日 至2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,970	11,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,658	△5,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,568	△1,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,532	329
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,787	4,340
現金及び現金同等物の期首残高	15,403	7,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,615	11,777

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

トピックス

1. KASAI NORTH AMERICA, INC. 新本社の開所式を開催

当社は、北米地域（米国・メキシコ）における業容拡大に対応し、経営管理体制を強化するため、米国子会社のKASAI NORTH AMERICA, INC.（以下「KNA」）の新本社を、テネシー州マンチェスター市から同州のマーフリーズボロ市に移転し、9月14日に開所式を開催いたしました。開所式には、在ナッシュビル日本国総領事、テネシー州経済開発庁長官を始め、自動車メーカーおよびサプライヤーから多数のご来賓の方々にご出席頂きました。



KASAI NORTH AMERICA, INC.新本社

KNAは、今年30周年を迎え、従来の本社機能の強化に加え、北米地域における統括機能ならびに研究開発機能を備えた体制整備を行い、お客様のご期待にお応えすべく、企業競争力の強化を図ってまいります。

2. Nissan Global Supplier Award 2016 “Global Quality Award (GQA)”を受賞

当社は、7月12日、日産自動車株式会社様から、Interior & Exterior部門にて、Nissan Global Supplier Award 2016 “Global Quality Award (GQA)”を受賞いたしました。本賞は、2015年度に最も品質評価の高かったグローバルサプライヤーに贈られるもので、Interior & Exterior部門では、当社が初めての受賞となります。今回の受賞は、当社のグローバルでの品質総合評価がトップレベルのスコアを獲得できたことによるものであり、全地域・全従業員の努力が結実したものと考えております。今後も、当社グループを挙げて、品質マネジメントを強化し、お客様の信頼を勝ち取ってまいります。



Nissan Global Supplier Award
Global Quality Award 盾・表彰状

3. プラスチック成形加工学会「青木 固 技術賞」および2016年“超”モノづくり部品大賞「自動車部品賞」を受賞

当社は、プラスチック成形加工学会の第27回年次大会（6月14日開催）において、「青木 固 技術賞」*を受賞いたしました。受賞テーマは、「高輝度・高光沢な金属調外観を有する射出成形製品の開発」であります。これは、塗装と同等の高質感を、射出成形で達成することができる優れた技術であり、耐キズ付き性、低コストを実現すると同時に、環境にも優しい技術として高く評価されました。本技術は、日産「ジューク」のドアトリムで採用され、今後さらに採用の拡大が見込まれています。



日産「ジューク」ドアトリム



「青木 固 技術賞」盾・表彰状

また、当社は本技術により、「モノづくり日本会議」と日刊工業新聞社の共催で毎年実施している、「超」モノづくり部品大賞において、11月30日、「自動車部品賞」を受賞いたしました。“超”モノづくり部品大賞の受賞は、昨年の「補強材を含まない樹脂ノンフィラーポリプロピレン (PP) を使った射出発泡成形技術の開発」に続くものであり、当社の技術力の高さを示しております。

* 青木 固氏は、射出成形機、延伸ブロー成形機など、多くのプラスチック成形機械の発明と開発に世界的な業績を残され、プラスチック成形加工学会の設立に寄与された方です。同氏の偉大な功績を讃え、「青木 固 技術賞」が1990年に創設され、プラスチック成形加工技術に創造的業績をあげた研究者・技術者に対し、毎年贈賞されています。

会社概要 (平成28年9月30日現在)

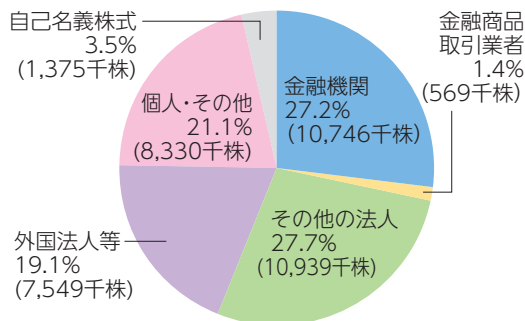
商号	河西工業株式会社
事業	自動車内装部品の製造・販売及びこれに付帯する一切の事業
創業年月	明治45年1月
設立年月	昭和21年10月
資本金	58億21百万円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
従業員数	単独1,194名 連結8,447名
所在地	本社 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	127,695,000株
発行済株式の総数	39,511,728株 (うち自己株式1,375,330株)
株主数	6,770名
大株主(上位5名)	

株主名	持株数	持株比率
長瀬産業株式会社	5,404 千株	13.7%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	2,774 千株	7.0%
株式会社りそな銀行	1,825 千株	4.6%
株式会社タチエス	1,692 千株	4.3%
河西工業取引先持株会	1,322 千株	3.3%

所有者別株式分布状況



事業所

本店及び本社	〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (75) 1125 (総務部ダイヤルイン)
寒川工場	神奈川県高座郡寒川町宮山3316番地 電話 0467 (73) 2030 (管理課ダイヤルイン)
寄居工場	埼玉県大里郡寄居町大字赤浜158番地 電話 048 (582) 3355 (代表)
子会社	国内6社 海外11社
関連会社	国内3社 海外5社

役員

代表取締役会長	渡邊邦幸
代表取締役社長	堀浩治
取締役専務執行役員	杉沢正基
取締役専務執行役員	半谷勝二
取締役専務執行役員	西川至
取締役	池本眞也※
取締役監査等委員	久保義弘
取締役監査等委員	平田省三※
取締役監査等委員	渡邊眞也※

(注) ※印は社外取締役であります。

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂 7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告 (http://www.kasai.co.jp/) やむを得ない事由によって電子 公告による公告ができない場合 は、日本経済新聞

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●ホームページのご案内

企業活動全般の情報や決算発表資料等を適時掲載しておりますので、是非ご利用ください。

<http://www.kasai.co.jp/>



KASAI KOGYO CO., LTD.